



# 令和7年度 地域振興に向けた取組

十日町地域振興局  
地域振興グループ



はじめに

## 地域振興事業の取組

地域振興グループでは、地域の課題解決や産業振興を目指した事業を企画し、管内の市・町や事業者とも連携しながら取り組んでいます。

### 広域枠

南魚沼地域振興局を基幹局とし、魚沼及び十日町地域振興局の3局で推進していく事業のほか、

近隣県（長野県北信地域振興局）とも連携して展開する事業です。

### 一般枠

十日町地域振興局単独で取り組む事業です。



# 「清津峡」広域周遊促進事業

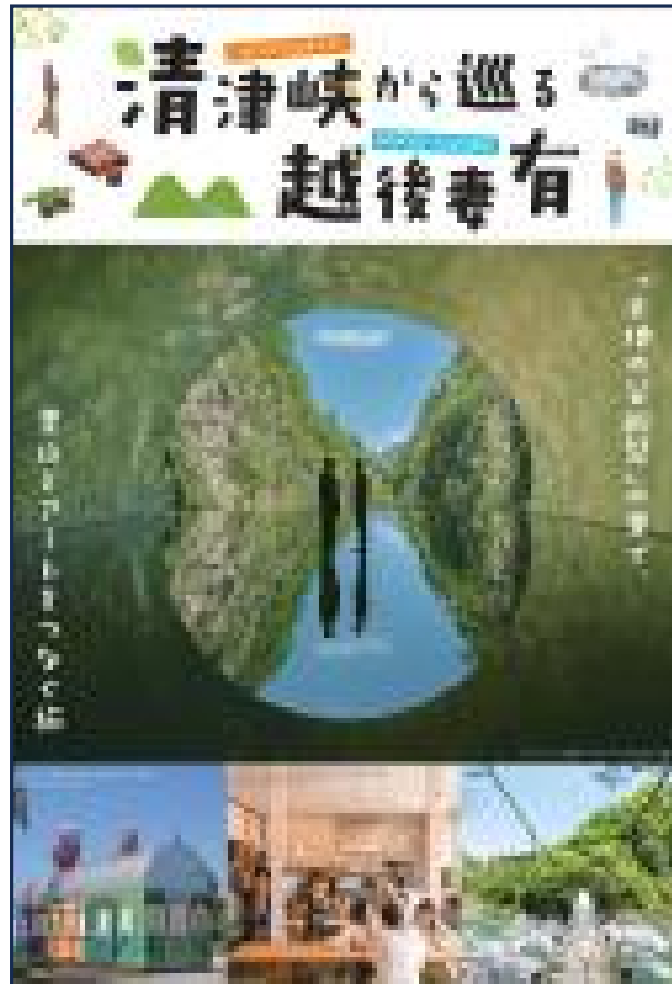
「清津峡」来場者が広域周遊をすることにより、その集客力による経済効果が地域内に波及することを目指して、行政、観光協会及び民間事業者などからなるワーキングチームを立ち上げた。同ワーキングチームメンバーを対象に観光webサイトによる観光誘客の専門家によるwebコンサルティングセミナーを開催したほか、越後湯沢駅や「清津峡」周辺観光案内所で配布するための「『清津峡』広域周遊マップ」を作成した。



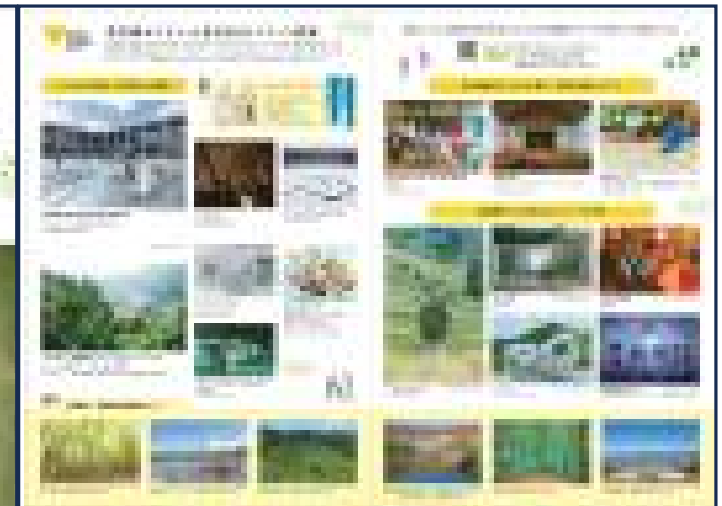
▲ webコンサルティングセミナー



▲ 新潟プレミアサロンの場を活用して越後妻有をPR



▲ 「清津峡」周遊マップ



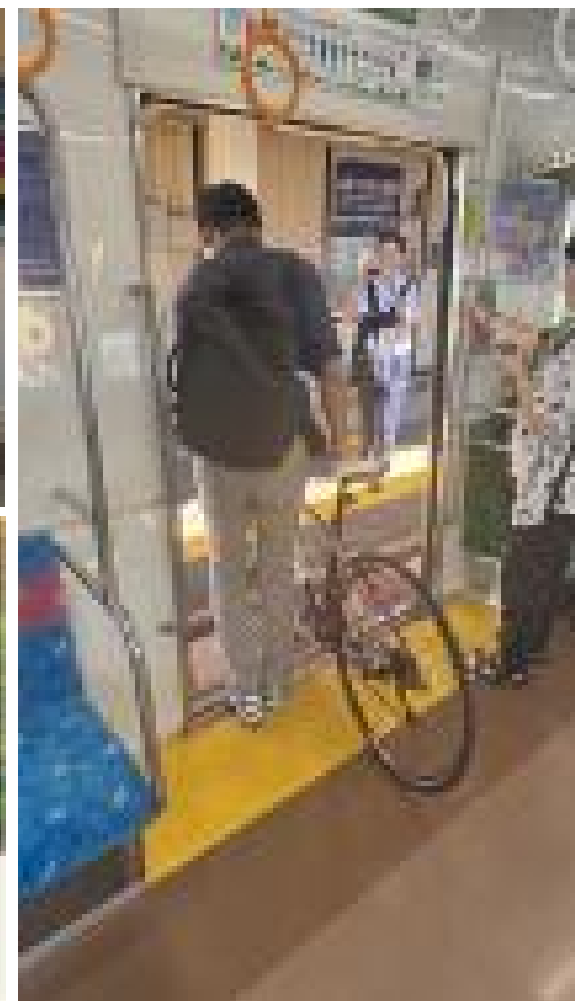
# 地域鉄道路線利活用促進広域連携事業

飯山線、北越急行（ほくほく線）の2つの鉄道路線の維持・利便性向上のために、サイクルトレイン実証実験やほくほく探検隊（沿線小学生向け）を行う他、Instagramを活用したプロモーションキャンペーンを行うなど利用促進の取組を行いました。

ほくほく探検隊：9/23（45名参加）

サイクルトレイン実証実験：7/16、12/20

Instagramキャンペーン：投稿数 157件、投稿者数 21人



# 魚沼地域連携サイクルツーリズム推進事業 関係人口構築促進事業（「妻有ファン」造成事業）

妻有地域におけるサイクルイベントの連携促進を目指して広域サイクリング研究会に参加して運営面での課題共有を履  
図った他、「越後まつだい冬の陣」に来県した首都圏大学応援団に対して「妻有ファン」になることを期待して、  
妻有地域におけるイベントの運営ボランティア（ツールド妻有／こへび隊）への参加を呼び掛けた。



## 3 魚沼連携人材確保育成プロジェクト（web販売戦略人材育成）

新潟県よろず支援拠点と連携して、民間事業者が自社のSNSを活用した販路拡大に係る取組を行うことのできる人材育成を目指して「＼ファンを呼ぶ／Instagram活用講座」を開催した。

### 〔講座概要〕

講師：南雲純子氏（新潟県よろず支援拠点コーディネーター）、サポート：宮澤奈緒子（新潟県よろず支援拠点コーディネーター）

第1回：R7.9.4 26事業者、28名参加

第2回：R7.11.4 27事業者、32名参加



# 国道253号冬期観光支援道路交通確保対策事業

国道253号に地中熱ヒートパイプ方式による路面融雪装置を導入することにより、登坂不能やスリップ事故の発生を防ぎ、十日町雪まつりをはじめとした魚沼圏域の冬期の観光振興を支援することを目的としたハード整備を行いました。

## ■ 実施内容

ヒートパイプ式路面融雪施設 0.5箇所



着手前



完成



融雪状況  
赤囲部が令和7  
年度施工範囲

## クマ被害防止啓発による安全・安心な地域づくり事業

クマによる人身被害の発生を防止し、人とクマが共生する安全・安心な地域づくりを目指して、人身被害防止について地域住民及び観光事業者などへ周知する講演会の開催や、啓発チラシ・ポスターの配布、クマ出没時対応訓練を行いました。



クマ出没対応訓練の実施



クマ人身被害防止講演会



## 十日町きものGOTTAKU支援事業

きもの産業に関連した工場の見学、職人との交流を軸に「きもののまち十日町」の魅力を発信し、きものファンの拡大と交流人口の拡大を図るため、2018年に全国初のきもの工場見学イベントとして開催され、2025年で第6回目を迎えた「～職人探訪～きものGOTTAKU」の開催を支援しました。

開催日程：5月22日～5月24日、5月29日～5月31日

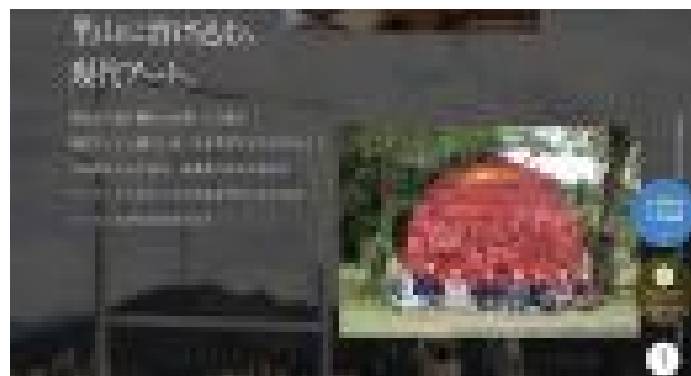
参加企業：10社

見学者数：のべ414人



## 十日町市「真の魅力」発信事業

旅行者が魅力に感じる十日町市のブランドイメージを構築するため、令和5年度に策定した「十日町市の観光地域づくりが目指すイメージ（ビジョン）」及び令和6年度に実施したマーケティング調査結果やブランディングコンセプトブックの策定などを踏まえた市の目指すブランドビジョンの訴求及び浸透を図るため、コンセプトを体現する旅行商品の造成やマーケティング内製化の取組などブランディング化の取組を支援した。



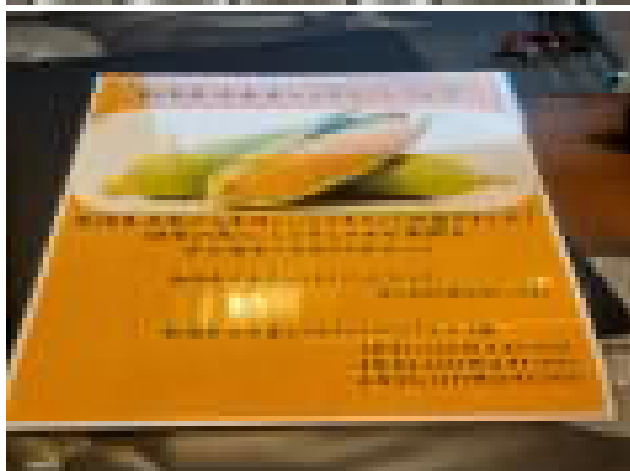
## 津南町農作物ブランディング推進事業

新潟視察におけるPRを契機に、銀座・新潟情報館THE NIIGATAにおいて、飲食事業者向けの試食・商談会を実施しました。あわせて、同館で一般消費者向け産直市及びレストランとのコラボフェアを展開し、津南産農作物の認知拡大と需要喚起を図りました。

【新潟視察に係るPR】9/2

【試食・商談会及び産直市】9/26(飲食事業者8社、一般152名)

【レストランフェア】9/26～10月下旬



# 一級河川濁川奴奈川キャンパス観光支援事業

「大地の芸術祭」の施設となっている奴奈川キャンパスに隣接して流れる一級河川濁川の管理用通路の整備を行い、遊歩道として活用することで来訪者の増加を図り、芸術祭等での観光振興を支援することを目的としたハード整備を行いました。

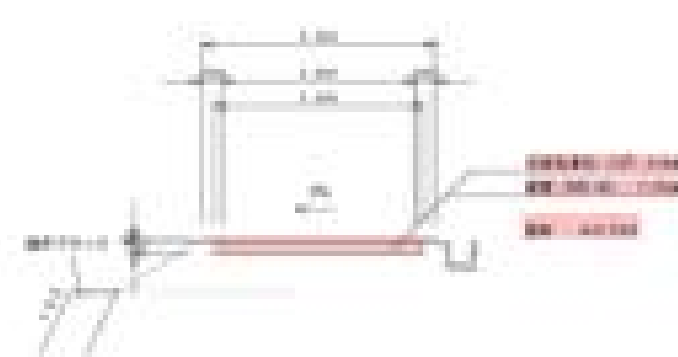
## ■ 位置図



## ■ 計画平面図



## ■ 標準断面図



## ■ 実施内容

- 管理用通路舗装工 L=410m、A=984m<sup>2</sup>(R8へ繰越)



着手前



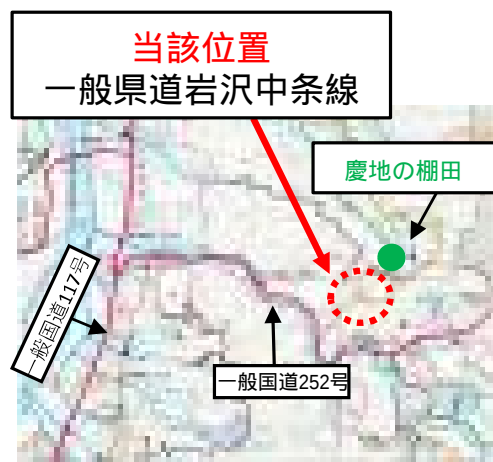
施工中(R7年12月)

## 一般県道岩沢中条線 観光支援道路改良事業

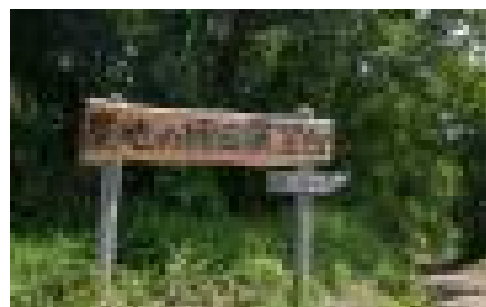
十日町管内には、農水省「**つなぐ棚田遺産**」に認定された棚田が数多く存在します。

「**慶地の棚田**」(令和4年2月認定)もそのひとつですが、アクセス道路である一般県道岩沢中条線は視距が悪く幅員も狭いため、危険な状況にあります。

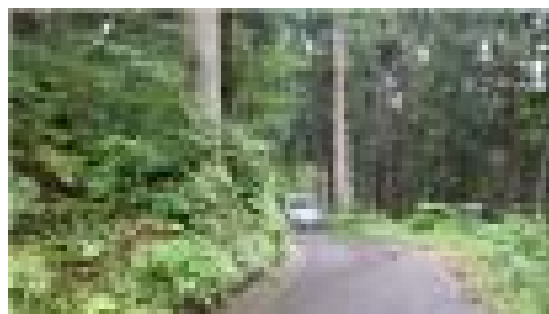
そのため、道路改良により道路の安全性・利便性の向上を図り、更なる来訪者の増加に向け事業を進めています。  
令和7年度は、道路を拡幅するために必要となる用地の測量を実施しました。



展望台から望む慶地の棚田

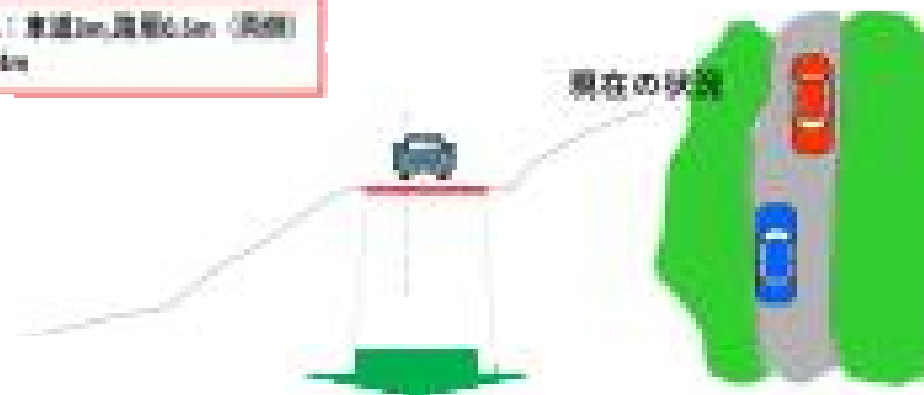


地域住民の手作り看板

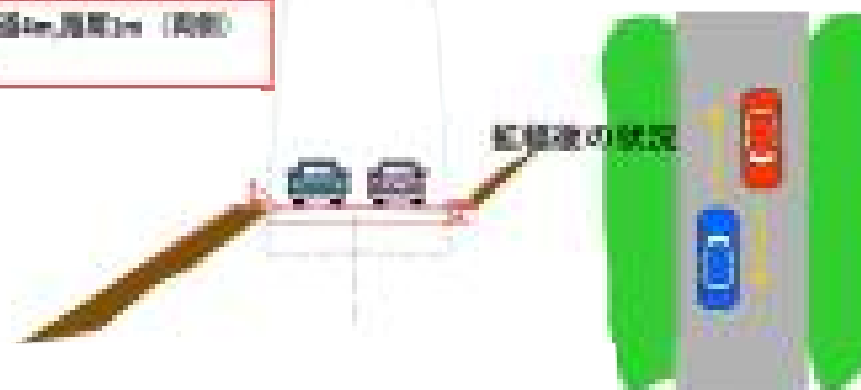


視距が悪く幅員も狭い状況

現状：車道2m、路肩0.5m（両側）  
→計画



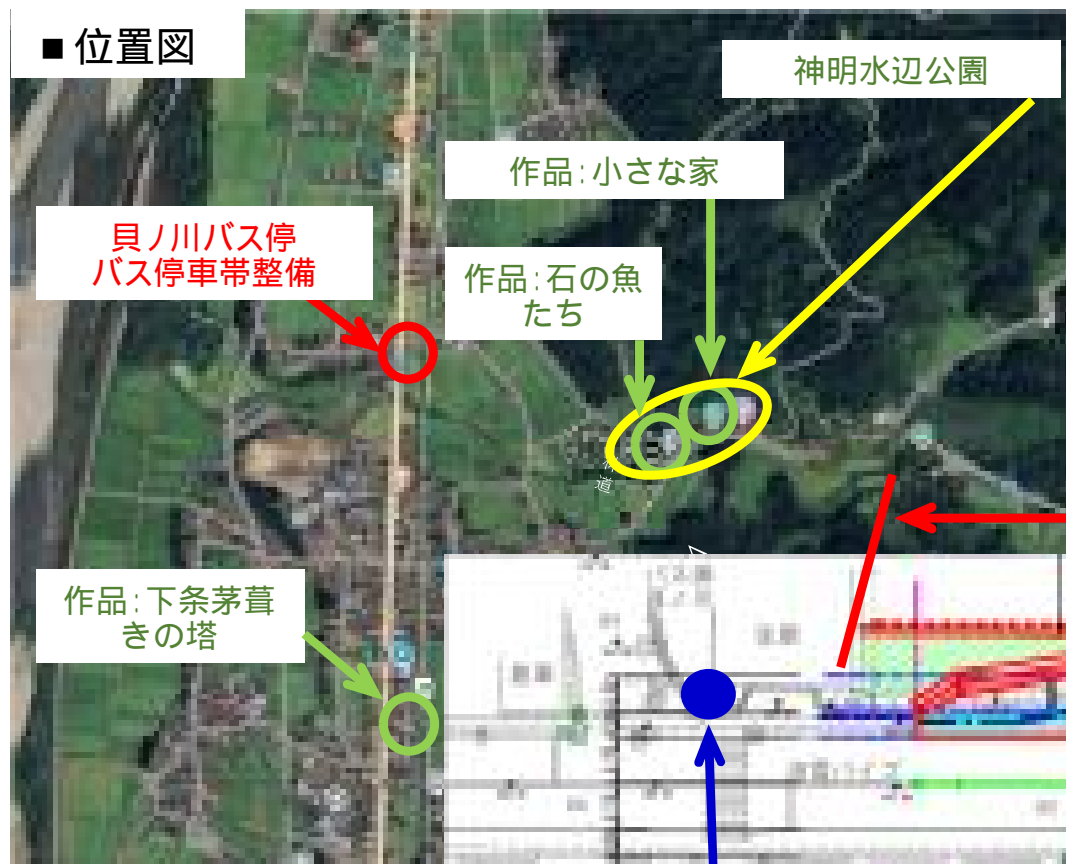
計画：車道4m、路肩1m（両側）  
→計画



# 一般国道117号大地の芸術祭観光支援事業

「大地の芸術祭」の作品が展示され、芸術祭と連携したイベントも開催されている下条地区の最寄りである貝ノ川バス停のバス停車帯を整備することで、来訪者の安全性向上と交流人口拡大を支援します。  
令和7年度は、整備計画検討に必要な測量及び設計を行いました。

## ■ 位置図



## ■ 計画平面図 (R7作成)

R7実施 地形測量・簡易設計

